

第8節 消 防 関 係

1 消防

(1) 常備消防

ア 消防総務一般事業

59,459,883 円

消防職員が業務を遂行するための基本的な勤務環境の整備及び充実に図った。

(ア) 特定業務従事者健康診断業務委託料 1,180,410 円

(イ) 吉和地域の消防体制の確保を図るため、消防事務を委託している広島市に対し、消防事務の一部の事務委託に関する規約に基づき、負担金を支払った。

吉和地域消防事務委託負担金 36,375,555 円

(ウ) 職員の教育・研修等の実施状況

a 初任教育

新たに採用した消防職員に対し、全寮制の教育により、消防防災に関する基礎的な知識及び技術の修得と、強靱な体力、気力、社会人としての人格形成を目的とした研修のため、広島県消防学校へ3名入校した。

b 専科教育初級幹部科

初級幹部に必要な知識及び技術を修得するため、広島県消防学校へ2名入校した。

c 専科教育救助科

救助技術に関する知識及び技能を修得するため、広島県消防学校へ4名入校した。

d 専科教育救急科

新しく救急隊員の資格を取得するため、広島県消防学校へ5名入校した。

(エ) 救急救命士の養成・再教育等の実施状況

a 救急救命士養成（1名） 1,876,830 円

b 救急救命士薬剤投与追加講習（2名） 353,240 円

c 救急救命士再教育（4名） 131,423 円

イ 消防庁舎等維持管理事業

32,978,936 円

廿日市消防署、西分署、佐伯分署、大野消防署及び宮島消防署各庁舎の維持管理費

消防庁舎維持管理業務委託料 7,038,756 円

ウ 常備消防活動事業

19,057,260 円

火災等の災害による被害を軽減し、地域住民の身体生命及び財産を保護するため、消防ホース・空気呼吸器・緊急災害用エアートント等を購入した。

消防用資機材 15,093,277 円

エ 予防活動事業

9,582,582 円

消防機関が防火の専門としての立場から、安全安心なまちづくりの実現のために、建築物の消防用設備等の設置や維持管理の指導をするとともに、市民への防災意識の啓発を行った。

(ア) 住宅用火災警報器設置支援

消防法改正に伴い、平成 23 年 6 月からすべての戸建住宅等に住宅用火災警報器の設置が義務付けられるため、広島県緊急雇用対策事業を活用し、住宅用火災警報器の設置状況調査と 65 歳以上の高齢者や障がいをお持ちの方で地域の協力が得られない方を対象に取付け支援事業を行った。

住宅用火災警報器設置促進委託業務 9,099,580 円

オ 救急活動事業

9,257,388 円

年々高度化する救急業務を円滑に行うため、救急隊員の教育及び資器材の整備、維持管理を行った。

また、新型インフルエンザ対策用感染防止用資機材の備蓄事業（平成21年度から平成26年度）を行った。

カ **救助工作車整備事業** 4,672,500 円

年々高度化する救助活動を円滑に行うため、救助工作車用の資器材整備を行った。

キ **消防ポンプ自動車整備事業** 34,965,250 円

平成4年度に西分署に配備した車両を、老朽化のため更新した。

(単位：円)

概 要	対 象	数 量	事 業 費	
				うち補助対象事業費
水槽付消防ポンプ自動車	西分署	1	34,755,000	8,810,242

ク **消防管理一般事業** 9,145,500 円

(平成21年度繰越分)

(単位：円)

概 要	施工箇所	事 業 費	
			うち補助対象事業費
非常電源設備設置工事実施設計業務委託料	西分署	294,000	294,000
非常電源設備設置工事	西分署	8,452,500	8,452,500
宮島消防署污水管改修工事	宮島消防署	399,000	399,000

ケ **緊急消防援助隊派遣事業** 1,937,800 円

東日本大震災により被災した宮城県名取市に延べ46人の職員を派遣し、現地にて人命捜索活動等を行った。

(2) 非常備消防（消防団）

ア **消防団活動運営事業** 94,552,800 円

消防団は、消防署と共に市民の生命、身体及び財産を各種災害から守るため、火災の予防と各種災害による被害の軽減、防止活動を行った。また、消防団の施設、組織の充実を図るとともに、各種教育訓練を通して、消防に関する高度な知識の修得と技術の向上を図った。

(7) 消防団員の教育・研修等の実施状況

a 訓練指導員（県）教育訓練

分団長5名が、訓練礼式及びポンプ操法の指導員として必要な知識及び技術を修得するため、広島県消防学校へ入校した。

b 訓練指導員（市町村）教育訓練

部長1名、班長6名が、訓練礼式及びポンプ操法の指導員として必要な知識及び技術を修得するため、広島県消防学校へ入校した。

c 上級幹部教育訓練

副団長4名が、消防団の上級幹部として、組織の管理と消防団活動に必要な知識及び技術を修得するため、広島県消防学校へ入校した。

d 中級幹部教育訓練

分団長4名が、幹部の心得と部隊運用等、消防団活動に必要な知識及び技術を修得するため、広島県消防学校へ入校した。

(i) 消防団員数の推移

(単位：人)

地域 時点	廿日市	佐伯	吉和	大野	宮島	合計
H19.4.1	181	119	75	168	72	615
H20.4.1	184	115	73	166	76	614
H21.4.1	183	112	71	169	73	608
H22.4.1	188	113	69	166	72	608

(ウ) 消防団員の訓練実施状況

訓練を年間291回行い、延べ8,057人参加した。

(エ) 消防団員の報酬・費用弁償支払状況

a 消防団員報酬 17,987,975 円

b 訓練・出勤手当等費用弁償 36,120,880 円

(オ) 広島県消防協会廿日市支部補助金 4,204,000 円

イ **消防団自動車維持管理事業** 4,082,349 円

廿日市分団17台、佐伯分団8台、吉和分団8台、大野分団12台及び宮島分団7台の小型動力ポンプ付積載車等の維持管理を行った。

ウ **消防団車庫維持管理事業** 2,566,256 円

老朽化した消防団車庫を修繕した。

エ **小型動力ポンプ付積載車整備事業** 5,458,540 円

老朽化した第3分団2部1班（宮園）の小型動力ポンプ付積載車1台を更新した。

(単位：円)

概 要	対 象	数 量	事 業 費	
				うち補助対象事業費
小型動力ポンプ付積載車	第3分団2部1班（宮園）	1	5,355,000	454,000

(3) 消防施設

ア **消防水利施設維持管理事業** 3,515,674 円

大野地域の防火水槽（鳴川40t・物見40t）2基の漏水補修工事を行った。

(単位：円)

概 要	施工箇所	事 業 費	
			うち補助対象事業費
鳴川地内防火水槽修繕工事	第21分団格納庫	798,000	798,000
物見住宅内防火水槽修繕工事	物見山集会所前	787,500	787,500

イ **消防水利施設整備事業** 12,778,500 円

廿日市地域（城内第一公園・広電廿日市駅南口）に2基、耐震性貯水槽を新設した。

(単位：円)

概 要	施工箇所	事 業 費	
			うち補助対象事業費
耐震性貯水槽整備工事	城内第一公園	4,742,850	0
耐震性貯水槽整備工事	広電廿日市駅南口	8,035,650	0

ウ **宮島消防署耐震化事業** 3,040,000 円

昭和50年に建築した宮島消防庁舎の耐震化を図るため、実施設計を行った。

(単位：円)

概 要	施工箇所	事 業 費	
			うち補助対象事業費
宮島消防署耐震補強工事等設計業務委託料	宮島消防署	2,940,000	2,940,000

(4) 防災

ア **防災情報収集事業** 3,058,804 円

災害を未然に防止して被害を最小限にとどめるための各種防災情報を一元的・共有化する広島県防災情報システムの使用や、災害時における情報伝達のための防災行政無線（移動系）の点検を行った。

防災無線保守点検業務等委託料 1,232,700円

土石流発生監視装置保守点検業務委託料 450,660円

防災行政無線電波利用料負担金（移動系） 41,100円

イ **防災行政無線整備事業** 51,782,500 円

老朽化した大野地域の防災行政無線（同報系）設備を平成 22 年度から平成 23 年度の 2 か年で更新（デジタル化）する事業の工事実施設計及び設備更新工事を行った。

（単位：円）

概 要	施工箇所	事 業 費	うち補助対象事業費
大野地域防災行政無線（同報系）設備更新工事実施設計業務	大野支所内他	2,782,500	0
大野地域防災行政無線（同報系）設備更新工事	大野支所内他	49,000,000	0

ウ **防災業務一般事業** 15,150,450 円

（平成 21 年度繰越分）

旧宮島支所の防災行政無線基地局設備を新宮島支所へ移設した。また、緊急時の情報伝達の充実を図ることを目的として、全国瞬時警報システムを整備した。

（単位：円）

概 要	施工箇所	事 業 費	うち補助対象事業費
防災行政無線移設工事 （地域活性化・経済危機対策臨時交付金）	宮島支所内他	6,015,450	6,015,450
全国瞬時警報システム整備工事 （防災情報通信設備整備事業交付金）	市役所内	9,135,000	9,135,000